

エルサルバドル政治経済月報

(2020年1月分)

2020年2月
在エルサルバドル大使館

内政

1. ベネケ外務次官等の辞任

9日、ブケレ大統領は、ベネケ外務次官（統合及び経済促進担当）及びリベラ・エルサルバドル社会保険庁（ISSS）長官の辞意を受け入れた旨公表した。

2. キハーノ前国会議長への不逮捕特権の剥奪申請

27日、検察庁（PGR）はエルサルバドル議会に対し、キハーノ前国会議長（最大野党国民共和同盟（ARENA）所属。）の不逮捕特権の剥奪申請を行った。同前国会議長には、サンサルバドル市長時代（2009年-2015年）に、犯罪組織マラスのメンバーと接触し、犯罪組織に便宜を図る代わりに、2014年大統領選挙における犯罪組織による投票を得たとの容疑がかけられている。

外交

1. ヒル外相の中米統合的開発計画草案に関する式典出席

15日、ヒル外相は、グアテマラシティで開催された中米統合的開発計画（Plan de Desarrollo Integral con Centroamerica : PDI）の第4草案の提出に関する式典に出席した。エルサルバドル、グアテマラ、メキシコに関連するPIDは、移住を強制ではなく選択肢とするために、移住を考える人々の出身地の福祉の向上と発展を目指す地域イニシアティブである。

2. ヒル外相のコロンビア訪問

20日、ヒル外相はコロンビアを訪問し、第3回テロ予防・対策半球閣僚会合（Tercer Dialogo Ministerial de Prevención y Lucha contra el Terrorismo en el Hemisferio）に出席した。ヒル外相は、各国間の情報共有を円滑なものにする米州機構テロ対策委員会（CICTE）の新たなテロ対策ネットワークに期待を示すとともに、各国に対し、CICTEが機能するために必要な資金を拠出するよう呼びかけた。

3. ブケレ大統領とジャマテイ・グアテマラ大統領の首脳会談

(1) 27日、ブケレ大統領はエルサルバドルを訪問したジャマテイ・グアテマラ大統領と首脳会談を行った。両首脳は、エルサルバドル-グアテマラ間のフライトに関し、国内航空便の Kategoría で運航することを推進する共同宣言に署名。また、両首脳は、両国の移民及び税関当局に対し、30日以内に人の移動にかかる国境手続きの廃止、及び、3ヶ月から4ヶ月以内に物の移動にかかる国境手続きの廃止を指示することで合意した。

(2) ジャマテイ大統領はブケレ大統領に対し、エルサルバドルがグアテマラの大西洋側に港を持つために、官民連携のコンセッションによる港をエルサルバドルに提供することをオファーした旨明らかにした。

4. 米州における成長 (America Crece) イニシアティブにかかる MOU 署名

(1) 30日、エルサルバドル・米国両政府は、米州における成長 (America Crece) イニシアティブにかかる MOU に署名を行った。かかるイニシアティブの目的の一つは、雇用創出、経済成長の再活性化、緊急性を有するインフラ計画の実現にある。ブケレ大統領の立ち会いの下、ジョンソン在エルサルバドル米国大使、ヒル外相、アエム経済大臣、米国国際開発金融公社 (DFC) のボラーCEO が署名を行った。

(2) この MOU を契機に、エルサルバドルと米国は、ワーキンググループを設立し、エネルギー及びインフラ分野のプロジェクトの創出による投資機会の特定のために共同で取り組む。

経済

1. 韓国 FTA 開始及び FTA 活用のためのフォーラム開催

1日、エルサルバドル・韓国間の自由貿易協定 (FTA) が発効した。同発効を受け、23日、韓国に向けた輸出増加と多様化を目指し、「FTA 活用のための第一アクションプランの研修と普及フォーラム」が開催され、国内企業に対し、同 FTA が提供する貿易機会を周知させた。

同フォーラムは、輸出の可能性がある製品及び企業の特典、技術面の調査リスト作成、市場調査、規制におけるギャップ調査、ギャップを解決するためのプログラム設計、認証プログラム等を具体的な活動内容としている。

2. 経済テイクオフ計画 (Plan Despegue Económico)

9日、ブケレ大統領は当国経済政策として「経済テイクオフ計画 (Plan Despegue económico)」に取り組む旨発表した。同計画への詳細は言及されておらず、6ヶ月かけて同計画の内容を形作る予定である。

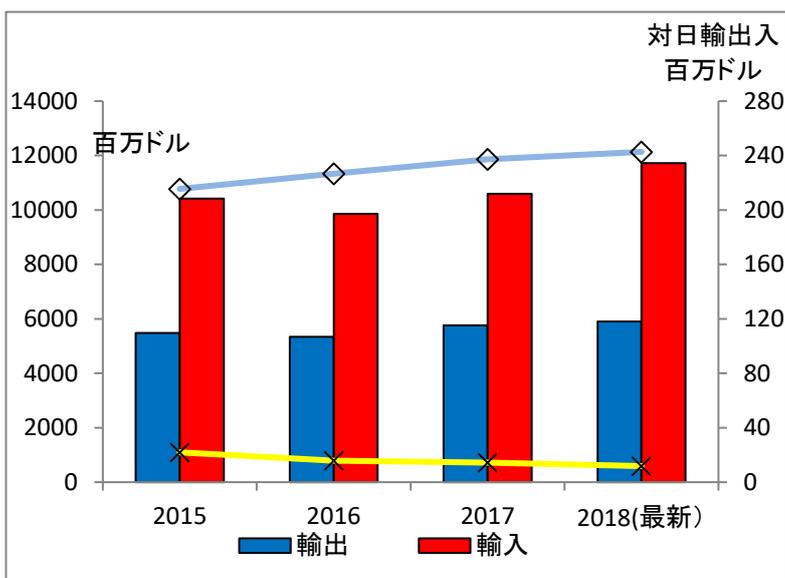
3. ドイツ政府による借款 26 百万ドル

ドイツ政府は、ドイツ復興金融公庫 (KfW) を通じて当国に対し、借款 26 百万ドルの支援を行う。同借款は、都市部における気候変動対策に充てられる予定であるが、すでに両国代表者によって署名が行われたものの、国会承認は未だペンディング中である。

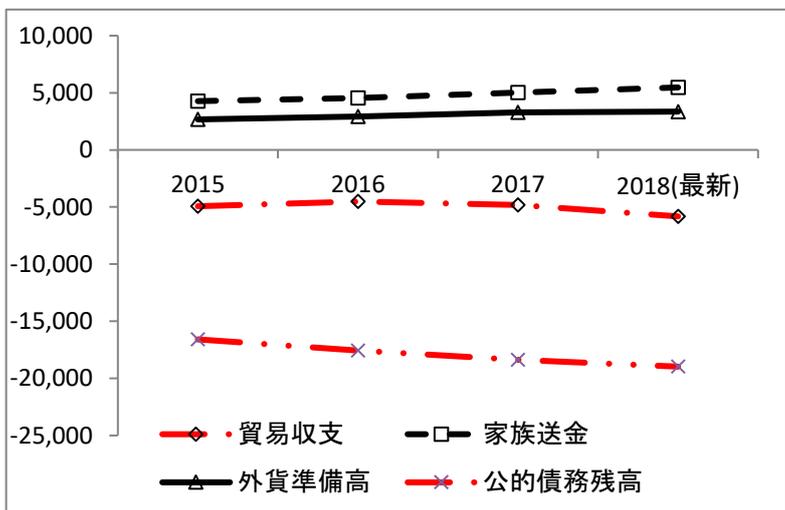
13 百万ドル強 (12 百万ユーロ) が無償資金協力とされ、残りは 20 年ローンの融資となる。支払い猶予は 10 年、利子は 2% とされる。同資金は、井戸建設、傾斜の平衡化、盆地の植林、住宅改善、その他のプロジェクトに充てられる予定である。

4. 米国慈善事業家ハワード・バフェットによる 25 百万ドル無償供与

米国慈善事業家ハワード・バフェット (Howard Buffett) は、国家文民警察 (PNC) オペレーション本部設置及びクスカトラン公園の改修工事に充てる資金として 25 百万ドルの無償資金供与を行った。同資金のうち 20 百万ドルが PNC オペレーション本部設置に充てられ、残りの 5 百万ドルがクスカトラン公園の改修工事に充てられる。

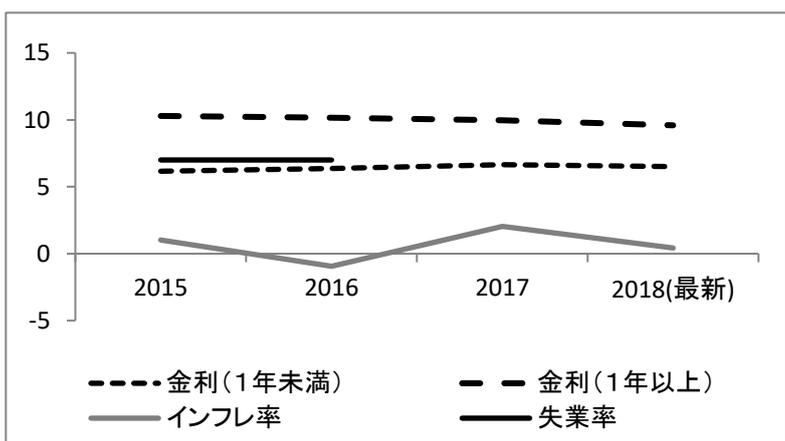


・2018年の輸出額は59億447万ドルとなり、前年比で2.5%増加した。輸入額は117億2580万ドルとなり、前年比で8.7%増加。

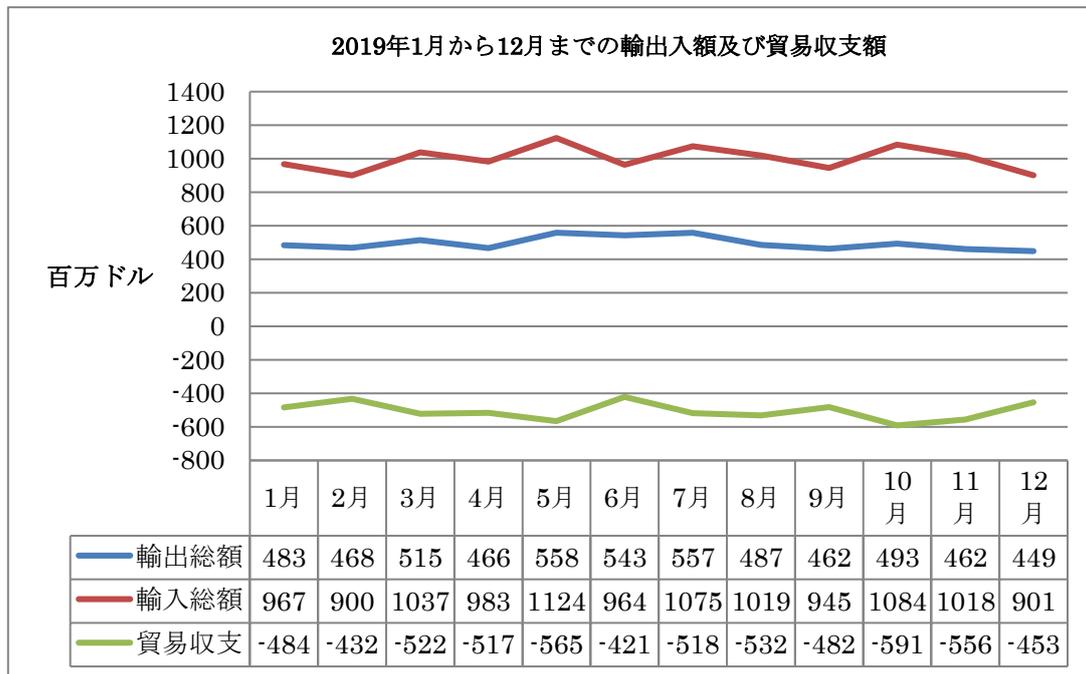


・2018年家族送金額は54億8,210万ドルとなり、過去最高額を記録。その内、米国からの送金は全体の93%を占めていた。

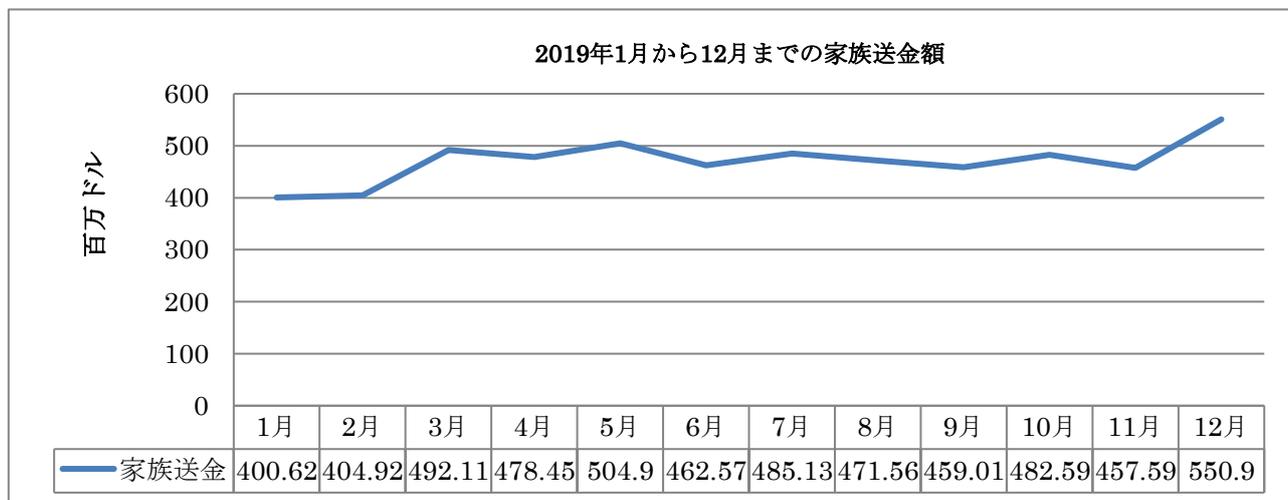
・貿易収支は-58億2,134万ドルとなり、貿易赤字は前年比で20.5%増加した。



・2018年のインフレ率は0.43%となり、前年と比較し、1.61ポイント減少した。



(当国中銀データをもとに作成)



(当国中銀データをもとに作成)

治安

【主要事件・報道】

1. エルサルバドル国内における 2018 年及び 2019 年の犯罪件数比較（報道）

1月27日、当地主要紙エル・ディアリオ・デ・オイ紙は、検察庁の統計による2018年及び2019年の犯罪件数の比較に関して報じた。

	2018年	2019年	
総犯罪件数	96,736件	104,726件	+7,990件
殺人件数	3,044件	2,269件	-775件
恐喝件数	13,264件	15,336件	+2,090件

その他、詐欺、傷害事件が、それぞれ950件、764件の増加を示した。

また、犯罪被害による死者数は、2018年が3,346人（うち犯罪組織絡み1,811人）、2019年が2,375人（うち犯罪組織絡み1,281人）と減少した。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパング湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチット旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

	窃盗	強盗	傷害	殺人	恐喝	車両盗難	車両強盗	強姦	交通事故死	配送車盗難強盗	誘拐
2019年11月	640	257	320	131	149	82	31	195	141	1	1
2019年12月	690	262	317	120	149	61	38	147	155	1	1

過去3年間同時期の犯罪件数推移

